

コード	103020101
記入日	H26.5.30

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	永田 裕宗

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道冷水部落内線新設事業
----------	--------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費(道路)	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法、道路構造令 新上五島町町道の構造の技術的基準を定める条例 等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者	(対象2)	(対象指標1) 冷水地区住民201人 (H25.4.1現在)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・新設延長 L=220.0m ・幅員 W=4.00 (5.00) m ・全体事業費 C=190,000千円	(平成25年度) ・新設延長 L=50.0(121.0)m ・幅員 W=4.00 (5.00) m ・事業費 C=19,967千円 ・土工 V=790m ³ ・補強土壁工 A=133m ² ・舗装工 A=290m ² ・測量設計委託 A=0.16ha ・用地費 2筆 (5.64m ²) ・補償費 立木 (18本)	① 工事進捗率	84.4%	84.4%	実施工事÷ 全体計画工事	平成27年度
		② 工事進捗率	10.5%	100%		平成25年度
		(達成率分析)	事業計画どおり進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
・本路線は冷水集落と林道熊高線を結ぶ道路で、周辺住民は高齢者が多く、日常生活に於いて不便を強いられている。道路を新設し、緊急・福祉・衛生車輛等の乗入を可能にすることにより、住民の生活環境の改善と福祉の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 生活環境の改善	-	-	-	平成28年度以降
		(達成率分析)	道路を新設することにより、緊急・福祉・衛生車輛等の乗り入れが可能になり、住民の生活環境の改善と福祉の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① %	100	84.4	73.9	10.5	10.5	7.9	7.7		
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	195,600	164,632	143,965	20,700	20,667	15,700	15,235		
直接事業費 A	千円	190,000	160,432	140,465	20,000	19,967	15,000	14,535		
人件費 B	千円	5,600	4,200	3,500	700	700	700	700		
内 従事職員数	人	0.8	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1		
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	180,200	152,000	133,100	19,000	18,900	14,200	13,900	
	その他	千円								
	一般財源	千円	15,400	12,632	10,865	1,700	1,767	1,500	1,335	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	道路管理者である町が行うべきものである。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	ほぼ計画どおり事業は推進されているので、特別向上させる必要はない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	住民の安全で安心な生活環境の確保と整備、利便性を向上させるため計画どおり事業を進めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。